

資料3-2

1. 子育て支援事業に係る量の見込みとその実績

(平成27年度、28年度において10%以上かい離のあるものについて色付けしています。)

事業名		事業内容	区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
2-(2)	幼児期の学校教育・保育の量の見込み (単位：人)	本市に居住する子どもについて、幼稚園、保育所(園)等の利用状況。(3～5歳の教育希望) (各年5月1日現在) 乖離がないため見直しなし。	①1号認定	676	628	602	579	567
			②実績	740	660			
			差(②-①)	64	32			
			確保方策	1,470	1,470	1,470	1,470	1,470
		本市に居住する子どもについて、幼稚園、保育所(園)等の利用状況。(3～5歳の保育の必要性有) 乖離がないため見直しなし(確保方策の減少は不明)。	①2号認定	569	528	507	488	478
			②実績	524	530			
			差(②-①)	-45	2			
			確保方策	594	594	564	564	564
		本市に居住する子どもについて、幼稚園、保育所(園)等の利用状況。(0歳の保育の必要性有) 2年続けては乖離がないため見直しなし。	①3号認定(0歳)	49	48	48	47	47
			②実績	29	44			
			差(②-①)	-20	-4			
			確保方策	52	52	52	52	52
		本市に居住する子どもについて、幼稚園、保育所(園)等の利用状況。1.2歳の保育の必要性有) 2年続けては乖離がないため見直しなし(確保方策の増加は不明)。	①3号認定(1.2歳)	298	298	296	295	294
			②実績	254	295			
			差(②-①)	-44	-3			
			確保方策	274	274	304	304	304
3-(1)	利用者支援事業 (単位：か所)	子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに関係機関との連絡調整等を実施する。 今後、母子保健型での対応を検討しており見込みは現行のままとします。	①量の見込み	1	1	1	1	1
			②実績	0	0			
			差(②-①)	-1	-1			
			確保方策	1	1	1	1	1
3-(2)	時間外保育事業 (単位：人)	保育認定を受けた子どもについて、通常の利用時間以外の時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する。 短時間認定児童は16：30、標準時間認定児童は18：30以降の延長を利用している実人数を勘案して見直す。H28.8とH29.8の初日在籍児童数の比較がH29.8はH28.8の95.7%であることから計算する。	①量の見込み	368	350	218	208	199
			②実績	256	228			
			差(②-①)	-112	-122			
			確保方策	368	350	218	208	199

3-(3)	放課後児童健全育成事業 (単位：人)	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活指導の場を提供し、その健全な育成を図る。 過去2年は量の見込みと実績が乖離していたが、平成29年度の実績見込が現時点（H29.8）で見込相当になると想定されるため、現行のままとします。	①量の見込み	629	627	612	575	525
			②実績	439	503			
			差（②－①）	-190	-124			
			確保方策	540	540	640	600	600
3-(4)	子育て短期支援事業 (単位：延べ人日)	保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業及び夜間養護等。 利用実績に合わせ2人×5日分	①量の見込み	87	83	10	10	10
			②実績	12	0			
			差（②－①）	-75	-83			
			確保方策	87	83	10	10	10
3-(5)	地域子育て支援拠点事業 (単位：人回)	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。 H29の見直し以降、定義を改め、ちっこくこくらぶ、ちっこくこべビー、よちよちこっこ、子育て講座、にこにこルーム、つどいの広場、子育ておしゃべりサロン、おとうさんとあそぼう事業を対象として策定する。	①量の見込み	1,142	1,086	10,487	10,696	10,910
			②実績	1,452	1,778			
			差（②－①）	310	692			
			確保方策	1,142	1,086	10,487	10,696	10,910
3-(6)	乳児全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん事業) (単位：人)	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う。 ぎょうせいによる統計からの見込み数値を使用(0歳児見込人口)	①量の見込み	281	274	316	307	297
			②実績	300	292			
			差（②－①）	19	18			
			確保方策	281	274	294	307	297
3-(7)	養育支援訪問事業および要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業 (単位：人)	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業。 要保護児童対策地域協議会の機能強化を図るため、調整機関職員やネットワーク構成員の専門性強化と、ネットワーク機関間の連携強化を図る取組みを実施する。 実績について訪問延べ件数ではなく、実数記載に変更するとともに、見込量を実態に近づけ整合性を図る	①量の見込み	23	22	40	40	40
			②実績	161	117			
			差（②－①）	138	95			
			確保方策	23	22	40	40	40

3-(8)	一時預かり事業 (単位：人日)	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う。（幼稚園における在園児を対象とした一時預かり） H29.6～尾崎幼稚園の保育場所が一時移動となったため、預かり保育の利用者が減少したと分析。H29は例年より少ない見込みとしている。 H30からは、H28の実績に基づき見込んでいる。	①量の見込み	6,617	6,141	4,391	5,632	4,971
			②実績	8,679	7,252			
			差（②－①）	2,062	1,111			
			確保方策	6,617	6,141	4,391	5,632	4,971
		家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う。（保育所での一時預かり） 桃の木の森こども園での一時預かり事業の実績から量の見込みを計算する 確保方策は1日1人として開所日数を勘案して設定する。	①量の見込み	4,032	3,862	25	25	25
			②実績	32	25			
			差（②－①）	-4,000	-3,837			
			確保方策	4,032	3,862	290	290	290

3-(9)	病児・病後児 保育事業 (単位：人日)	病児・病後児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を行う。 公立保育所での体調不良児対応型保育の実績を量の見込みとして計算する。（H28は看護師1名が欠員のため実績値が低い。）	①量の見込み	106	101	470	470	470
			②実績	477	425			
			差（②－①）	371	324			
			確保方策	106	101	470	470	470

3-(10)	ファミリーサポートセンター 事業 (単位：人日)	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う。 年度による変動が大きく見直しの根拠になりません。見込量は現行のままとします。 また、国や府の定義の見直し等に迅速に対応できるよう、量の見込み及び実績欄に内訳欄を追加します。	①量の見込み		1,318	1,284	1,250	1,220	1,186	
			①の内訳	A	病児・緊急対応			10	9	8
				B	Aを除く未就学児			1,018	994	967
				C	Aを除く就学児			222	217	211
			②実績		938	1,638				
			②の内訳	A	病児・緊急対応					
				B	Aを除く未就学児					
				C	Aを除く就学児					
			差（②－①）		-380	354				
			確保方策		1,318	1,284	1,250	1,220	1,186	

3-(11)	妊婦健診 (単位：人)	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する。 過去2年の実績から勘案して量の見込を設定。（0歳児予測人口の1.57倍）	①量の見込み	309	300	496	481	466
			②実績	525	504			
			差（②－①）	216	204			
			確保方策	309	300	496	481	466